

金融グローバル化と 途上国

国宗浩三・久保公二編

研究双書 No. 536

国宗浩三・久保公二編 『金融グローバル化と途上国』

Kinyū Gurōbaruka to Tojōkoku
(Financial Globalization and Developing Economies)

Edited by

Kōzō KUNIMUNE and Kōji KUBO

Contents

Introduction Financial Globalization and Developing Economies (Kōzō KUNIMUNE and Kōji KUBO)

Part I Financial Globalization and Its Influences

- Chapter 1 Dollarization and Its Impact on Financial Development in Cambodia, Laos and Vietnam
(Shin'ichi WATANABE)
- Chapter 2 Macroeconomic Dynamics of the Asian Financial Crisis (Akira KOHSAKA)
- Chapter 3 Globalization of the Asian Economy and Economic Fluctuations (Noriyuki YANAGAWA)
- Chapter 4 What Is the Effect of a Safety Net on the Relief of Defaulted Firms: Does It Encourage
Economic Growth or Increase the Probability of Financial Crisis? (Sumio HIROSE)
- Chapter 5 Changes in Interest Rate Arbitrage in a Developing Country: The Case of Mexico (Seirō ITŌ)
- Chapter 6 Foreign Bank Entry and LDC Economic Development: Implications and Research Issues for
Asian Developing Countries (Hidenobu OKUDA)

Part II Measures for Developing Economies to Cope with Globalization

- Chapter 7 Contracts between Government and Corporation (Mariko WATANABE)
- Chapter 8 Motivation and Effect of Firm Listings on Newly Formed Security Markets: The Thai
Security Market and IPOs before and after the Financial Crisis (Fumiharu MIENO)
- Chapter 9 Korea's Policy for the Promotion of Venture Business: An Analysis Using Real Options
(Takao IJIMA)
- Chapter 10 Financial Development and Economic Growth in Pakistan (Hisaya ODA)

Part III Measures against Crises

- Chapter 11 Sovereign Debt Restructuring: Crisis Costs and Debtor Discipline (Arito ONO)
- Chapter 12 Financial System Restructuring and Banking Efficiency: An Estimation of the Efficiency of
Local Commercial Banks in Thailand and Malaysia after the Financial Crisis (Kōji KUBO)
- Chapter 13 Coping with Financial Crises in a Globalized Environment: Experiences of Three ASEAN
Countries (Kōzō KUNIMUNE)

[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 536]

Published by Institute of Developing Economies, 2004
3-2-2, Wakaba, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba 261-8545, Japan

金融グローバル化と途上国

くにむね 国宗 浩三 (アジア経済研究所海外調査員〈在ワシントン D.C.〉)
くほ 久保 公二 (アジア経済研究所開発研究センター国際経済研究グループ)
わたなべ 渡辺 慎一 (国際大学大学院国際関係学研究科教授)
こうさか 高阪 章 (大阪大学大学院国際公共政策研究科教授)
やながわ 柳川 範之 (東京大学大学院経済学研究科助教授)
ひろせ 広瀬 純夫 (金融庁金融研究研修センター研究官)
いとう 伊藤 成朗 (アジア経済研究所開発研究センター開発戦略研究グループ)
おくだ 奥田 英信 (一橋大学大学院経済学研究科教授)
わたなべ 渡辺 真理子 (アジア経済研究所開発研究センター国際経済研究グループ)
みえの 三重野 文晴 (神戸大学大学院国際協力研究科助教授)
いいじま 飯島 高雄 (一橋大学経済研究所非常勤研究員)
おだ 小田 尚也 (アジア経済研究所海外調査員〈在シンガポール〉)
おの 小野 有人 (みずほ総合研究所政策調査部主任研究員)

一執筆順一

金融グローバル化と途上国

研究双書No.536

2004年1月15日発行©

定価 [本体4100円 + 税]

編者 国宗浩三・久保公二編

発行所 独立行政法人日本貿易振興機構

アジア経済研究所

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 ㊦261-8545

研究支援部

電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail syuppan@ide.go.jp

http://www.ide.go.jp

印刷所 日本ハイコム株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

無断転載を禁ず

ISBN4-258-04536-5

目 次

まえがき

序 章 金融グローバル化と途上国	国宗浩三・久保公二	3
第1節 本書の課題		3
第2節 本書の構成と主な結論		6
第3節 まとめ		16

第 I 部 金融グローバル化の進展とその影響

第1章 インドシナ3国における「ドル化」と金融システムの発展		
	渡辺慎一	21
はじめに		21
第1節 「貨幣のドル化」		25
第2節 銀行の「バランスシートのドル化」		30
第3節 「ドル化」が金融システムに与える影響		35
第2章 アジア金融危機のマクロ・ダイナミクス	高阪 章	45
はじめに		45
第1節 金融危機とマクロ経済ダイナミクス		49
第2節 1997年の銀行危機と東アジア5カ国：統計的分析		54
第3節 1980年代における東アジアの金融危機		60
おわりに		66

第3章	アジア経済のグローバル化と経済変動	
	——流動性の相互保有が与える影響——	柳川範之…71
	はじめに	71
第1節	モデルの概要	75
第2節	多国モデル	78
第3節	アジア危機への示唆	82
第4節	司法制度整備の重要性	83
第4章	公的セーフティネットによる債務不履行企業救済と経済危機	
	——成長促進と危機発生可能性の上昇——	広瀬純夫…87
	はじめに	87
第1節	1997年アジア危機とセーフティネット	89
第2節	分析のフレームワーク	93
第3節	政府によるセーフティネット提供の影響	96
	おわりに	106
補論1	期待収益関数 Π の凹性について	107
補論2	債務保証型と保険型での救済範囲の違い	108
補論3	他セクターからの財源補填による期待収益の増加	109
第5章	途上国における利子率裁定の変遷	
	——メキシコの事例——	伊藤成朗…115
	はじめに	115
第1節	推計方法	116
第2節	データ	121
第3節	推計結果	124
	おわりに	131

第6章 外国銀行の進出と途上国の経済発展	
——アジア研究に向けた論点整理の試み——	奥田英信…137
はじめに	137
第1節 途上国への外国銀行進出のメリットとデメリット	138
第2節 外国銀行の進出に関する代表的な見解	142
第3節 世銀シナリオのモデル化	146
第4節 世銀のシナリオの問題点	155
第5節 アジアに関する検証課題	160

第Ⅱ部 グローバル化への対応

第7章 政府-企業間契約の変化と企業価値——金融契約論から	
中国の国有企業改革を考える——	渡邊真理子…169
はじめに	169
第1節 国有企業制度改革における意思決定権とキャッシュフ ロー権の分配	171
第2節 分析	176
第3節 政府と国有企業間の契約と企業価値——事例研究への適用——	190
おわりに	197
第8章 形成期の証券市場と企業の市場参加	
——金融危機前後のタイ証券市場の評価——	三重野文晴…201
はじめに	201
第1節 タイの証券市場	203
第2節 タイ企業のコーポレート・ファイナンス	209
第3節 分析の視点と手法	214
第4節 上場前後の経営パフォーマンス、資金調達の変化	218

第5節 企業の上場行動の決定要因	222
おわりに	226
第9章 韓国のベンチャー振興政策	
——リアル・オプションによる分析——	飯島高雄…231
はじめに	231
第1節 現状分析	233
第2節 モデル分析	239
おわりに	250
補論 リアル・オプションを用いた投資採算計算の具体的数値例	252
第10章 パキスタンにおける金融市場の発展と経済成長	
	……小田尚也…259
はじめに	259
第1節 金融発展と経済成長	
——クロス・カンントリー研究と因果性の問題——	……260
第2節 パキスタン金融市場の発展	……264
第3節 パキスタン経済と金融発展に関する実証研究	……267
おわりに	……278
第Ⅲ部 危機への対応	
第11章 ソブリン債務再編問題——新興市場国危機に対する	
セーフティネットはどうあるべきか——	……小野有人…285
はじめに	……285
第1節 ソブリン債務再編問題の背景	……287
第2節 新興市場国危機に対するセーフティネット	
——SDRMとCACs——	……291

第3節 ソブリン債務再編問題のジレンマ	
——負債の規律 vs. 危機コストの軽減——	299
おわりに——分析のまとめ	303
第12章 金融システム再構築と銀行業の効率性	
——タイ, マレーシア地場商業銀行の効率性の推計——	久保公二 313
はじめに	313
第1節 金融システム再構築への取り組み	316
第2節 手法とデータについて	323
第3節 推計結果	329
おわりに	335
第13章 グローバル化と金融危機への対応	
——ASEAN 3 カ国の経験——	国宗浩三 339
はじめに	339
第1節 データ比較による考察	340
第2節 各国ごとの金融再構築の特徴について	346
おわりに	367